

# くらしのニュース 9月号

発行/苫小牧市市民生活部市民生活課 TEL0144-32-6306(直通)  
市民生活課消費生活情報ホームページ <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kurashi/shohiseikatsu/seikatsubusshi/>

令和2年8月24日発行

## 《価格動向調査》

### 道内産の野菜が出回り価格を下げる

今月の消費経済調査員11名による価格調査結果ができました。調査は、市内の食料品店11店舗。燃料店9店。ガソリンスタンド9店舗の協力を得て行っています。調査品目は、51品目53銘柄ですが、ここでは紙面の関係上一部の品目について掲載しています。(53銘柄の価格動向は、市のHPに掲載しています。)

品名	規格	単位	平均価格(円)			備考
			今月	前月	前年同月	
はくさい		100g	22.8	31.1	19.2	北海道産
きゃべつ		100g	14.3	18.7	12.1	北海道産
大根		100g	12.0	19.1	12.2	北海道産
玉ねぎ		100g	27.5	24.2	22.5	北海道産
きゅうり		100g	55.8	63.3	46.5	北海道産
ばれいしょ		100g	45.0	37.4	32.8	北海道産
ほうれん草		100g	109.7	98.8	96.8	北海道産
トマト		100g	51.9	53.5	51.1	北海道産
まがれい		100g	108.5	81.4	109.1	北海道産
いか		100g	128.5	122.3	141.3	北海道産
まぐろ	メバチまぐろ	100g	310.5	350.3	393.4	インド洋



### 《野菜類》

今月の野菜類は、ほぼ北海道産が店頭に並んでいました。北海道は、全国的に食料自給率がトップクラスとなっていることから納得です。農林水産省のデータによると、道内産のばれいしょ、玉ねぎは全国の57%を占めている畑作物です。今月は両作物とも若干価格が上がりましたが、一消費者として、これ以上の上昇は避けて欲しいです。



### 《魚介類》

今年もイカの不漁が続き高値となっています。他の水産物等にも共通している問題ですが、海水温の上昇や近隣国による過剰な漁獲など様々な要因が考えられますが、大切な水産資源が減りつつあります。マグロの価格は、若干下がってきていますが、外食を控えていることによる要因が大きいと思われる。まがれいは、周期的に例年8月の価格が一番高値の月となっています。

苫小牧でも7月に比べて100g当たり20円以上上昇しました。